

卷 頭 言

古 賀 行 義

本学教授武市春男先生は、長年月の間商業教育に従事され、功績顕著なものがあるというので、勲三等に叙せられ、瑞宝章を下賜される榮譽に浴せられることになった。茲に同僚たるわれ等も相よって祝福せざるを得ないのである。同先生はただに商業教育に多大な貢献をされたばかりでなく、われらの城西大学、とくにその経済学部の新設に尽瘁されたことはわれわれの間において周知のことであり、更に最近経営学科の新設にあたって、東奔西走されたことは、われわれの感佩おく能わざるところである。

同先生は目下の本籍はともかく、本来、土佐国人士の伝統の血脈をつぐ人であり、気魄と機略ゆたかに、性剛直なるが如くして、内に純情掬すべき協力の素因をいただき、諧謔談笑の間に、自ら創見を披瀝するだけでなく、人のために凶って、自からを顧みること少い。また私淑せる先生や先輩のためには、その逝去後伝記を出版し、かくれたる事蹟を明かにされたことは、一、二に止らない。また多忙なる日常生活の間にあつて諸著書を収集し、研究を重ね、公表された著書・論文もまた少くなく、十数年以前に授与された法学博士の学位のごときは、その一端の徴表たるに過ぎないというべきである。いささか私事にわたって語ることを許されるならば、わたくしとの交遊50年、たとえ遠隔の地に相見ざること数年に及ぶとも、一旦、会見の機を得れば、年月の経過を忘れたるものの如く、いささかも旧にたがわず、その意気ますます上り、杜甫の胡馬詩にあるように「……風は四蹄に入って軽く、向かうところ空闊なく……驍

騰かくの如くんば、万里横行す」べき活動家でもある。

実に歲月人をまたず同先生もすでに古稀に達せられたということで、叙勲のこととあわせて、祝福しなければならぬ。杜甫曲江詩に「……酒債尋常，行くところあり，人生七十古来稀なり」とある。「七十は古は稀いにしえまれであったかも知れぬが，今日はなおまだ「稀」であるとはいわれないようである。人生老年期の段階には，なお喜寿・傘寿・米寿・白寿等の諸段階がある。しかしながら，年月の加速度は古稀から急に倍増するかの感がある。武市先生一そう自重自愛し，自己の本性に従って，自他のために「万里横行」の気概を維持して貫いたのは，おそらくわたくしだけの願ではあるまい。

上述のような祝福の意を体して，茲に本誌全一卷を上げて先生のために奉呈するものである。本誌は本来，経済関係の論著を集録するものであるが，時には経済学部の「一般教育」に従事される諸先生のそれぞれの専門論文をも掲載することもある。今度は特別にかような多数の先生の論文を収集し，紙数を倍加して祝福の意を表したいということである。「一般教育」に従事される諸先生の諸論文とはいえ，経済学乃至は経済人にとって無縁のものではない。経済学の底辺はさまで狭隘なものでないことは言うまでもなからう。ことにわれわれの先達である武市先生に，この著者たちは年来の親交ある人たちばかりである。諸先生がそれぞれ専攻の論著を捧げて古稀のお祝とされることに，わたくしは満腔の敬意を表したいとおもう。前掲の杜甫曲江詩の終りに「花を穿つ蝶々深々として見え，水に点ずる蜻蜓歎々として飛ぶ，語を伝えよ，風光ともに流転し，暫時相賞して相違することなかれ。」とわれわれは期せずして城西大学経済学部に，先生としてまた学生として相互に遠近より集合した。ここに数年は少くとも親交を結ぶ因縁が成り立った。相互に相助け合って，人生と風光との流転する短い期間であっても渾然一体となって独自の学風を作ろうではないか。それが一生涯から見て暫くのことであるからこそ，とくに肝要なことではないだろうか。最後にもう一度，武市先生の栄典と古稀を祝福して，筆をおくことにする。

武市春男先生著作目録

著 書

| (書 名) | (発行年月日) | (発行所) |
|-----------------|-------------|-----------|
| 法 学 通 論 | 昭和10年5月5日 | 創 生 社 |
| 改訂,法学通論 | 昭和13年1月10日 | 創 生 社 |
| 改正商法の話 | 昭和13年12月8日 | 創 生 社 |
| 印度法制史大要(訳) | 昭和18年4月10日 | 創 生 社 |
| 商業の法律知識 | 昭和23年10月30日 | ダイヤモンド社 |
| 新教育法規精解 | 昭和25年4月30日 | 仲 和 書 院 |
| 商 業 法 規 | 昭和26年2月24日 | 同 文 館 |
| 産業教育振興法解説 | 昭和26年7月25日 | 文 教 書 院 |
| 最 新 商 法 | 昭和27年10月31日 | 中 央 経 済 社 |
| 商業法律読本 | 昭和28年3月30日 | ダイヤモンド社 |
| 新会社法概要 | 昭和30年3月25日 | 国 元 書 房 |
| 商業実践読本 | 昭和30年4月30日 | 東洋経済新報社 |
| 商 事 法 | 昭和31年4月30日 | コ ロ ナ 社 |
| 商業教育論 | 昭和31年10月15日 | 国 元 書 房 |
| 法学概論(共著) | 昭和32年4月20日 | 国 元 書 房 |
| 実践商業学 | 昭和32年11月20日 | 産業図書株式会社 |
| 商業法規(教授資料) | 昭和35年3月20日 | 大原出版株式会社 |
| イギリス会社法 | 昭和36年4月20日 | 国 元 書 房 |
| 法学概論(共著) | 昭和37年5月15日 | 国 元 書 房 |
| 商 法(共著) | 昭和37年5月20日 | 国 元 書 房 |
| 日本産業入門 | 昭和37年11月26日 | 国 元 書 房 |
| 会議の法律 | 昭和40年6月21日 | 同 文 館 |
| 高校生法律入門 | 昭和41年9月23日 | 第一法規出版社 |
| ポケット民法・商法 | 昭和42年5月20日 | 国 元 書 房 |
| 商取引の文書作成の手引(共著) | 昭和43年4月15日 | 日本法令様式販売所 |

| | | |
|---------------|-------------|-----------|
| 新版商法(共著) | 昭和43年4月25日 | 国元書房 |
| 対話による売買法の基礎知識 | | |
| | 昭和43年10月15日 | 日本法令様式販売所 |
| イギリスの法律格言 | 昭和43年11月15日 | 国元書房 |
| 法学・日本国憲法(共著) | 昭和44年5月30日 | 国元書房 |
| ドイツの法律格言 | 昭和45年9月30日 | 国元書房 |
| 暮らしと備え(監修) | 昭和45年12月25日 | 金融財政事情研究会 |

論 文

| (論文名) | (発表雑誌等の名称) | (発表年月日) |
|--------------------------|---------------------|-------------|
| 英米における Business Law について | | |
| | 商 教 育 | 昭和12年4月1日 |
| 新しい学園の構想 | 産 業 と 教 育 | 昭和23年7月1日 |
| 職業教育の振興 | 国 民 | 昭和25年4月1日 |
| 産業と教育について | 経 営 と 労 働 | 昭和25年4月1日 |
| 商教育当面の問題 | 文 部 時 報 | 昭和25年4月10日 |
| 職業教育観 | 教 育 時 報 | 昭和27年10月5日 |
| 商法改正の動向 | 中京大学論叢3巻4号 | 昭和31年12月20日 |
| 英法における法人と会社について | | |
| | 日本女子経済短大研究論集2号 | 昭和32年3月15日 |
| イギリス会社法における定款 | | |
| | 中京大学論叢4巻6号 | 昭和33年2月1日 |
| イギリス会社法における定款(承前) | | |
| | 中京大学論叢5巻3号 | 昭和33年11月1日 |
| イギリス会社法における目論見書について | | |
| | 証券研究第8号 | 昭和34年1月 |
| イギリス会社法における資本の概念 | | |
| | 中京商学論叢6巻2号 | 昭和34年9月1日 |
| イギリス会社法における株式について | | |
| | 名古屋商科大学商学会論文集(1960) | 昭和35年3月20日 |
| イギリスにおける法律上の企業形態(その一) | | |
| | 中京商学論叢7巻1号 | 昭和35年7月1日 |

- イギリス会社法の特徴 日本女子経済短大研究論集 8 卷 1 号
法の窓からコンビナートを覗く
国土産業経済 8 月号 昭和 37 年 8 月
- 1948年イギリス会社法における罰則
中京商学論叢 8 卷 3, 4 号 昭和 37 年 10 月 1 日
- イギリス法上の組合について
比較法創刊号 昭和 38 年 12 月 10 日
- ニューサンスについて 国土産業経済 7 月号 昭和 38 年 6 月 15 日
- イギリス会社法における私会社の概念
研究論集 10 号 昭和 39 年 4 月 20 日
- イギリス会社役員論
東京都立商科短大論集 第 11 卷 第 1 号 昭和 39 年 6 月
- ニューサンスとは何か 公害 2 号 昭和 40 年 2 月 1 日
- イギリス会社法上の監査役
日本女子経済短大研究論集 第 13 号 昭和 41 年 4 月
- 商法改正案の狙いとその概要
月刊 相互銀行 第 5 号 昭和 41 年 5 月 15 日
- イギリス新会社法の成立 海外商事法務 64 号 昭和 42 年 10 月
- 会社の総説
現代教養百科辞典法律篇所載 暁教育図書出版 昭和 43 年 7 月 25 日
- イギリス法上の流通証券について
東京都立商科短大論集 15 卷 1 号 昭和 43 年 11 月
- イギリス手形法序説
城西経済学会誌 第 4 卷 第 1 号 昭和 43 年 12 月
- 会社 現代国民法律全書所載 金子出版 昭和 44 年 1 月 10 日
- イギリス為替手形の概念
東京都立商科短大論集 15 卷 2 号 昭和 44 年 4 月
- イギリス法による外国会社, 海外会社および海
外貿易会社 海外商事法務 71 号 昭和 44 年 5 月
- 為替手形当事者の能力および権限
城西経済学会誌 第 5 卷 第 2 号 昭和 44 年 9 月